



ぬく森は、年度初めに各ユニットでテーマを決め、チームで取り組んでいます。
3月にはそれらを報告するユニット発表会があります。
今回は、発表の中から華ユニットとりんどうユニットを紹介させていただきます。
※紙幅の都合上、発表内容の一部を要約しております。

ユニット型特別養護老人ホームぬく森
—— 華ユニット発表 ——

華ユニットの利用者様は日中フロアにて洗濯物やタオルを畳まれるなどして、和気あいあいと過ごされています。施設内行事やレクにも積極的に参加され、お誕生日の際などには外出をして、食事やお茶を楽しまれたりしています。しかし、1日のほとんどを居室で過ごされる利用者様は、外出はもちろん行事やレクに参加することなく、せっかく離床しても浴室との往復のみで、他の利用者様との交流はありませんでした。同じユニット内で生活しているにも関わらず他の利用者様からは「よく分からない寝たきりの人」と思われ、区別されたような存在になっていました。職員の意識の中にも「区別」があるのではないかと、「寝たきり」の利用者様ではなく、実は「寝かせきり」の利用者様ではないか。「何もできない」のではなく、こちらから「何もしない」だけではないか。こうした思いから、ユニット内で話し合いを行い、居室で過ごされる利用者様へ以下の取り組みをはじめました。



- ①昼の栄養の離床の際にテレビや窓の方を向いて過ごして頂いていたのを、皆さんとテーブルを囲む形で過ごして頂きました。それにより、利用者様の顔が見え、他の利用者様や職員から声を掛けて頂く機会が増えました。
- ②入浴の前後に体調をみて短時間でも離床することで、他利用者様と顔を合わせた、普段とは違う景色を見て頂いたりしました。「まぶしい」や「寒い」等の反応がみられたり、名前を呼ぶと笑顔で返して下さったり、利用者様の方から話し掛けて下さるなど、利用者様の笑顔や発語が以前より増えました。

職員にも変化があり、利用者様が起きて頂ける時間を作ろうと職員同士で声を掛けあったり、ただ離床するだけでなく日光浴や、廊下を散歩したり手浴をするなどして利用者様に短時間でも居室の外で楽しく過ごして頂けるよう考え実行するようになりました。職員の都合になりがちな場面があるなど反省点もありますが、同じ場所で共に生活をしている「ともいき」の心を職員も含め全員に感じながら暮らして頂けるようにしていきたいです。

特別養護老人ホームぬく森・第二
—— りんどうユニット発表 ——

面手さん、初めての介護士1年を振り返り
2019年4月1日に入職。ご両親のお世話をされた経験はあるが、本人は介護士一年生で、ぬく森・第二で基本から学んだ後に現場に配属されるものと考えていた。しかし現実、即現場で指導を受けながら学んでいくOJTの毎日が始まることになった。マラソンが趣味で体力に自信はあるものの、過去に経験のない仕事に就き、働き続けるためには、本人の努力と周りからの支えの両方が必要だと感じた。若い人とは違ったサポート体制が重要と考え、他のスタッフからの情報と経験を交え、ONE TEAM(ワンチーム)で面手さんに接し指導を始めた。

- 仕事に対する悩み
- ・ベッド上での便失禁に対する排泄処理がうまくできない。
 - ・立位時でのおむつ交換がうまくできない。
 - ・夜勤で利用者様が急変されたとき、ひとりで対応できるか不安。
 - ・看取りやターミナルケアが不安。
- ↓
- ・他の介護士スタッフに迷惑をかけているのでは？
- ↓
- ・介護士に適していないのではないかと？



年齢や経験、職種は関係なく、仕事に対し思い悩むところはみんな同じです。経験や技術不足は当たり前なので、慌てず落ち着いて一つ一つ取り組み、仕事は常に“お互い様”なので、困ったときは周囲に相談しましょう。今後の目標は、事故を未然に防ぐことに優れた介護士を目指し、入所者様の満足度を高められる、気配りの出来る介護士になれるよう、さらなる成長に期待しています。

気づきを築くユニットケア
全国実践研究フォーラム
—— 幻のユニット発表 ——

私たちは3月に兵庫県で開催される「気づきを築くユニットケア全国実践研究フォーラム」への参加を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響により、開催が中止となってしまいました。そこで今回、発表予定だった内容を要約したものを寄稿させていただきます。

私たちは84歳女性A様の生活に着目し、「認知症の人が居場所を感じ、安心して日常生活が送れるように」というテーマで取り組んできました。A様はアルツハイマー型認知症であり、ショートステイを利用し始めた当初は“帰りたい”という気持ちが非常に強く、一日中いつもすごい剣幕で怒ってばかりおり、玄関前で迎えを待つ毎日を送っていました。こちらからの支援に対して常に拒否があり、時には暴言や暴力もありました。そこでA様への理解を深めようと職員間で話し合いを重ね、不慣れな環境にいる不安や寂しさ、



また、すぐに会話をしたことを忘れてしまうため、コミュニケーションが上手く取れないことからの疎外感によるストレスがそういった行動を引き起こす原因になっているのではないかと考えました。そして、今までの暮らしの継続が出来るようなアクティビティを通して他者とのつながりがもてるよう、支援方法を統一して声掛けやお誘いを行いました。すると、ほとんどのことを快く取り組んでくださり、会話や笑顔が増え、A様と職員、他の利用者様方との良好な関係を築けるきっかけとなりました。長年ご主人と二人きりで生活してきたA様にとって、突然ご主人と離れ、見知らぬ場所で多勢の見知らぬ人と生活しなければならない状況は、とても不安なことだったと思います。改めてA様の対応についてしっかりと話し合い、支援方法を統一して、良い結果を得ることが出来たことで、職員が同じ方向を向いて粘り強く取り組むことの重要性も再認識することが出来ました。

今回、残念ながら発表の機会は無くなってしまいましたが、支援の機会をくださったA様への感謝と敬意をはらうと同時に、A様から頂いた気づきの力を明日の力に変え、職員一同、今後も皆様の思いに寄り添ったケアができるよう取り組んでいきたいと思っています。





1/1

特別養護老人ホームぬく森 皇服茶(←初釜のこと)

場所／本館

新年最初にするものといえば初日の出や書初めなどありますが、本館は新春恒例!毎年恒例!!初釜を行いました!!職員が頑張って点てた抹茶を皆さんと一緒に楽しみました。「抹茶と饅頭おいしいねえ」と利用者みなさんも大満足♡来年は長寿を祝う(願う)「花びら餅」を用意できたらいいな。今年も一年よろしくお祈りします。



1/1

ユニット型特別養護老人ホームぬく森 新年会

場所／新館

利用者みなさんと一緒に新年会を開催しました。新年の書初めをしたり、すごろくをしたり、歌ったりなどゆったりした時間を過ごしました。また、初釜で抹茶を楽しんでいた、新しい年をスタートすることができました。



1/1

デイサービスセンターぬく森 初詣

場所／デイサービスセンターぬく森

今年の干支は37番目の庚子(かのえね)。新しいことを始めると上手くいく年。ということで、近所の神社に初詣に行きました。天候にも恵まれ暖かい陽気の中、お賽銭を投げてお参りしてきました。いろんなことに挑戦して上手くいく1年になりますように。



2/1

デイサービスセンターぬく森 いけばな

場所／デイサービスセンターぬく森

素敵なお花をたくさんいただいたので、利用者みなさんと一緒にデイサービスで活け花を行いました。何度も活けなおされる方、感覚で活けられる方などなど、サービスが花でいっぱいになりました。



2/3

特別養護老人ホームぬく森・第二 鬼をやっつけないと...

場所／特養ぬく森・第二

節分の日、地域によっては「豆まき後でも食べれるから」という理由で落花生を撒くそうです。利用者みなさんは壮年の鬼に同情して豆も落花生も豆っぽいものも撒かず、ウェルカムポーズ♡病気はすべて鬼の仕業と言われてるので、来年はコテンパンにやっつけてください。



2/3

デイサービスセンターぬく森・第二 枝豆と大豆と鬼退治

場所／デイサービスセンターぬく森・第二

巷ではずんだクレープやずんだプリンが流行っていますが、今回はみなさんと一緒にずんだ餅を作りました。豆をすりつぶすところからみなさんと一緒に、美味なずんだ餅ができました。その後、突如デイルームに青年の鬼が侵入!黄色い声援が響く中、やってきた鬼を退治すべく、みなさん勢いよく豆を模した玉を投げて退治して下さいました。



3/2

デイサービスセンターぬく森・第二 ひな祭り

場所／デイサービスセンターぬく森・第二

ひなまつりは女子が好きなもので祝うお祭り、ということでカップケーキとスクイズ(おもちゃの)カップケーキを作りました。本物のカップケーキは生クリームやフルーツがかざりつけ、スクイズは粘土やビーズでかわいく飾り付け。どちらもかわいくできました♪さあ、どっちが本物でしょーうか!本物のカップケーキは美味しくいただき、本物そっくりのカップケーキはお持ち帰りいただきました。



4/1

ケアハウスハートフル 手作りマスク

場所／ケアハウスハートフル

ケアハウスのみなさんは新型コロナウイルス感染予防のため、マスクを作りました。可愛い手ぬぐいや、ガーゼの布を持ち寄り「このサイズは小さい顔の人にいいね」「私はこのくらい大きさがいいわ」とみんなで作ればチョチョイのチョイ!おしゃなマスクで気分上々↑↑



4/14

保育所ぬく森 入園・進級おめでとうパーティー

場所／保育所ぬく森

保育所ぬく森が開所から、早1年。2名からスタートした園児も少しずつ増え5名になりました。仲良しの子どもたちがもっと仲良くなるよう入園・進級おめでとうパーティーをしました。園長先生から大きな自由画帳のプレゼントをいただき、いつもより豪華なおやつでカンパイ!

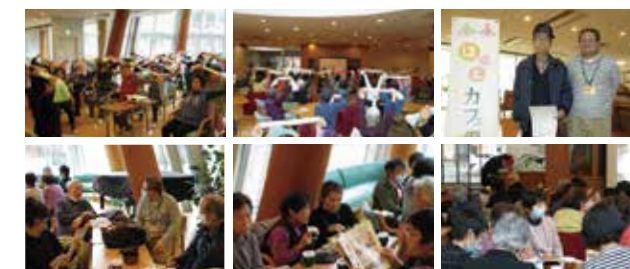
第63回ほっとカフェ倶楽部

日本初、国際地質科学連合により、約77万4千年前～約12万9千年前(新生代第四紀更新世中期)の地質年代の名称が「チバニアン(千葉時代)」と呼ばれることが決定した1月。笑いヨガとメモスタンド作りを行いました。笑うと免疫力アップ、ストレス解消、プラス思考になるなどの期待ができます。外出自粛で退屈な日々でも、大声を出して笑いましょう!



第64回ほっとカフェ倶楽部

60歳の誕生日を迎えた天皇陛下。即位後初の誕生日の祝賀行事に皇居で皇后さまと臨まれた2月。歌声喫茶とタオル体操を行いました。タオル体操でストレッチを行えば、体の柔軟性を維持し、けがを予防できます。お酢を飲んでも身体は柔らかくならないので、こまめに運動しましょう。



ほっとカフェ倶楽部よりご案内

新型コロナウイルス等感染症の拡大を考慮し、皆さまの安全面を最優先に考え、3月以降のほっとカフェ倶楽部は中止しております。再開の目途がたちましたら、改めてホームページ等でご案内させていただきます。楽しみにされていた皆さまにはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解の程よろしくお願いいたします。

職員表彰

ともいき福祉会では、毎年、他の模範として推奨すべき職員の表彰を実施しています。
令和元年度は次の職員の皆さんに対して3月27日に表彰を行いました。

最優秀賞

生活相談員
尾関 智恵美



優秀賞

生活相談員
白木 富三



努力賞



看護師
安藤 友美



保育士
都馬 路江



介護士
加藤 政臣

スローガン達成賞

掃除と衛生



介護士
市岡 徳之

利用者本位



介護士
長谷川 実也子

正確な挨拶



介護士
徳永 万奈実

丁寧な処遇



介護士
服部 知子

研修・研鑽



介護士
上生 勇介

グループ表彰

本館 医務室

永年勤続賞

永年勤続賞
10年

看護師
竹内 佳子
介護士
前田 貴仁
介護士
内山 夏希

永年勤続賞
5年

介護士
藤原 由季
介護士
松井 洋幸
介護士
佐久間 敦子

介護士
栗本 彰久
介護士
日比野 裕汰

介護士
柴田 知恵
介護士
小澤 静香